

## 人物図鑑

ねむろを愛する  
素敵な人たち

## バスケットボールで深めた交流の絆

姉妹都市スポーツ交歓団選手団長

澤田 さわだ正範さん まさのり  
(52)

昭和51年10月19日に、姉妹都市提携を行った富山県黒部市。毎年、幅広い交流が行われています。

10月24日から26日に行われたスポーツ交流事業の「バスケットボール」交流には、石垣副市長が団長を務めた交歓団24名が、黒部市での交流試合に臨みました。

今回の交流に、選手団長とマスターズの選手を兼ねて参加した根室バスケットボール協会長の澤田正範さん。「マスターズと若手選手との2チームが試合を行い、惜しくも若手チームが負けたことがマスターズメンバーの闘志を駆り立て、59対44で勝つことができました。結果を残せたことが、選手団長としてうれしく思います。」交流を目的としながらも、勝敗はチームにとっては大きな課題となっていたようです。

バスケットボール交流は、17年前には根室市で開催されました。昨年の根室市制施行50周年の式典で、当時黒部市の選手として参加していた方と再会し、「ぜひ、黒部市でもう一度バスケットボールをやりましょう。」との話ですが、今回の実現に結びつきました。また、選手全員が喜んで参加に賛同したことは、根室の人々にとって黒部市との交流は大切な事業となっていることを伺うことができます。

「大変な歓迎を受け驚きました。歓迎レセプションでは、多くの関係者の方々と交流を深めることができ、皆さんが北方領土問題など根室について詳しく、回を重ねるごとに交流の輪が広がっていることを実感しました。」と、感激の表情を隠せない様子です。レセプションでは交流の証となる記念品の交換も行われ、黒部市から贈られた両市の名がしるされたポロシャツを手に、交流の様子を話してくれる澤田さん自身も得るものが大きかったようです。

澤田さんが34年間続けているバスケットボールへの情熱が、姉妹都市の友好の絆を一層深めてくれたことは確かです。